



1 四季の米づくりの過程が1枚の画面の中に描かれている
2 絵馬が所蔵される六日入白山神社
3 収穫作業の様子



Oshu Heritage

奥州遺産

No. 29

「ときを越え
受け継がれるもの」

四季耕作図絵馬

前沢区白山字合野

前沢区白山にある六日入白山神社（通称・ほんじん坊）に所蔵される「四季耕作図絵馬」。安政5（1858）年、菅原萬右工門が、豊作を祈願または感謝して奉納したものと伝えられている。

四季耕作図は、岩手県内には屏風が数点存在しているが、絵馬としては唯一のもの。また、東北地方においても現代との比較ができる貴重な民俗的絵画資料とされている。

縦90センチ横120センチの大きな画面には、今では見ることがない農具や、種みぞを池の水に浸す作業から米俵搬入までの一連の作業の様子が描かれている。

先人のたゆまぬ努力と技術の伝承が今の米づくりを支えてきた。画面の中で生き生きと働く人々は、見るもの心を尊敬と感謝の念へと引き込まれる。

広告



※この広報紙は再生紙と植物油を使用しています。
※この広報紙は奥州市のホームページでもご覧いただけます。【本紙1部の印刷費用は約25円です。】